

朝日カルチャー 野外の自然観察 福吉海岸で冬の味覚といろいろ

12月20日(金)糸島市で海岸沿いの自然を見て昼食はカキ小屋で冬の味覚を堪能しました。師走も半ば過ぎというのに、天気は上々で玄界灘も穏やか。海岸線に打ち寄せる波は真っ白く重低音の波音も響いていましたが、風も冷たくはなくいい散策日和でした。

コースは、JR筑肥線の大入駅を降りて海岸へ出ます。ちょうど干潮時で砂浜も広く、きれいな貝殻もたくさん拾いました。

実を付けたマサキ ツルウメモドキ トベラ
センダンなどの木本類、ツルナ ツルソバ ハマ
オモト ハマエンドウなどの草本類。まだ咲いて
いるの?とかもう咲いているの?といった発見が
続きます。



入漁港を過ぎると福吉漁港までは松林の中を歩きます。手入れのされた明るい松林です。乾燥した場所に生えるヒトツバの群落に至る所にあり、胞子葉探しで楽しみました。松林を抜けた一带は、広々とカワラヨモギの群落、今の季節は枯れているけれどハマゴウやハマナデシコ ハマボッサといった海浜性の植物が沢山あり、花の季節に来ればさぞかしと思える風景でした。

ちょうど12時にカキ小屋に到着です。マガキのほかにもクルマエビや大あさり冷凍イカなど思い思いに購入して焼きガキを楽しみました。持ち込み自由なのでピーマンやキノコ、ウインナーやモチなども焼きました。もちろんビールも。お昼を十分楽しんで、帰りは青々と茂るハマウドや枯れたダルマガクの名残りを見てJR福吉駅まで歩き駅で散会しました。



溝口